

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月11日

上場会社名 株式会社 山 善 (コード番号：8051 東証・大証第一部)
 (URL <http://www.yamazen.co.jp/>)
 代表者 役職・氏名 取締役社長 吉居 亨
 問合せ先責任者 役職・氏名 専務取締役 管理本部長 青木 義雄 (TEL：(06) 6534-3163)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理 : 無
 の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 売上高

	百万円
平成16年3月期第1四半期	63,354
(参考)平成15年3月期	246,107

(注) 当第1四半期は四半期業績概況を作成する初年度であるため、前第1四半期との比較を省略しております。

事業の部門別販売実績

事業部門の名称	当第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		前連結会計年度(参考) 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
工作機械部門	8,876	14.0	35,253	14.3
産業システム部門	12,055	19.0	45,986	18.7
機械工具部門	12,136	19.2	46,910	19.1
システムエンジニアリング部門	1,320	2.1	4,732	1.9
住設建材部門	11,707	18.5	45,699	18.6
家庭機器部門	10,964	17.3	41,485	16.9
国際営業部門	5,634	8.9	23,178	9.4
その他	657	1.0	2,860	1.1
合計	63,354	100.0	246,107	100.0

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、デフレの長期化や個人消費の低迷など依然として厳しい経済環境下にありましたが、企業収益の改善や株式市況の持ち直しなど一部には景気回復の兆しが見られ、自動車業界や半導体関連業界においては、昨年秋以降の堅調な需要が持続いたしました。

このような状況下、地域毎の展示即売会や商品企画提案内覧会などの拡販策に注力し、当第1四半期の連結売上高は633億54百万円となり、当中間期の連結売上予想値に対して50.5%の達成状況であります。

営業分野別では、生産財関連部門(工作機械、産業システム、機械工具、システムエンジニアリング部門)の売上高が343億89百万円、消費財関連部門(住設建材、家庭機器部門)の売上高が226億72百万円、国際営業部門の売上高が56億34百万円と、各分野別においても概ね当初計画通りに推移いたしました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生していません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	125,500	1,180	460	4.90
通期	255,000	2,580	1,090	11.62

(参考) 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	118,000	1,080	400	0.00	—	—
通期	240,000	2,370	950	—	2.50	2.50

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期における業績は、概ね当初予想通りに推移しており、現時点では前回予想(平成15年5月23日に発表いたしました平成16年3月期の中間期及び通期の業績予想)に変更はありません。

なお、上記業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。